

|           |                 |  |             |  |
|-----------|-----------------|--|-------------|--|
| 法人(事業所)理念 |                 | 一人ひとりの生きる力を最大に。「社会から愛される子どもたち」への成長が私たちの願いです。   |             |  |
| 支援方針      |                 | 子ども一人ひとりの個性を尊重し、発育段階に合わせた速度でじっくり繰り返しながら経験を積めるように支援します。集団行動の中での体験を通じて、様々な力を育みます。あそびを通して、お子さんの心と身体の発達を応援します。困っていること、悩んでいることなど、一緒に悩み、一緒に考え、成長を一緒に喜び合える、そんな“子どもや保護者の方に寄り添う療育”を進めていきます。   |             |  |
| 営業時間      |                 | 火から金曜日の9:00 ~ 18:00<br>保育は午前9:20~11:10 と 午後1:20~3:10   | 送迎実施の有無     | 送迎なし   |
|           |                 | 支援内容   |             |  |
| 本人支援      | 健康・生活           | 基本的な生活スキルの習得に向けて保護者と一緒に支援の方法を考えながら進める。健康な生活が送れるように生活リズムを整えながら、またうまく習慣づけられるように、どのように進めていくかを一緒に考える。<br>・衣服の着脱や持ち物始末が自分のできるように、必要に応じて視覚支援も行いながら進める。<br>・生活面で家庭と連携を取りながら、排泄など身の回りの事も含め基本的なことができるように進める。  |             |  |
|           | 運動・感覚           | OTの考え方を取り入れ、遊具を考えて組み合わせるサーキットを組み立てている。一人一人の苦しさや困難さを見ながら、どんな動きがその子に必要なか、また何かを考えて進めていく。しっかり体を動かしてから“静”の動作を入れるなど、動きと生活を考えながら進めている。<br>・サーキット遊びを活動に組み入れている。<br>・触覚、視覚、聴覚などの感覚を使った「感覚遊び」を多く取り入れる。<br>・体操や音楽遊び、いろいろな運動遊びを通して体の動かし方やボディイメージができるようにする。 |             |  |
|           | 認知・行動           | 子どもたちの興味・関心に沿いながら、気づいたり考えたりできる遊びを進める。生活の中で数や比較などに気づけるような経験を取り入れていく。自分で考え、自分から取り組んでいけるように、見通しが持てるような支援を進める。   |             |  |
|           | 言語<br>コミュニケーション | 少人数のかかわりの中で、相手の意図を理解したり自分の考えを伝えたりするなど、言語の受容・表出ができるように進める。表出する機会を多く持ち、少しずつ自信をもって伝えられるように進める。<br>・お話タイム、絵カード遊びなどを活動に組み入れ、見た事、経験した事、考えた事を伝える繰り返しをする。<br>・お話や絵本を通して気づいたり思ったりしたことをやり取りする。   |             |  |
|           | 人間関係<br>社会性     | 安心して遊べる環境を第一に、遊具はもちろん、スタッフの感性・かかわり方を考え、子ども達にとってよりよい環境を作っていく。子ども達の意欲や自己肯定感を育てるための支援を進める。<br>行動から一人一人の困り感を探るために、行動を分析して困り感の部分への支援を考え対応する。  |             |  |
| 家族支援      |                 | 本児のやりにくさや困り感がどこからくるか、どうかかわっていけばよいのかを保護者と一緒に考える時間を取り、ともに進めていけるようにする。<br>・保護者さんの悩みに寄り添い、いつでも話せる環境を確保する。<br>・年に1~2回、保護者向けの研修会を行う。   | 移行支援        | 就学に向けて、どう進んでいくかなど、保護者さんが予測を立てられるように、また心構えができるように、情報提供を行ったり一緒に話をする時間を持ったりしていく。  |
| 地域支援・地域連携 |                 | ・地域の自立支援協議会など関係機関との連携を行う。<br>・保育所・幼稚園と連携を持ち、参観や様子の共有を行いながら、共に支援を考える関係性を作っていく。  | 職員の<br>質の向上 | ・防災・虐待・身体拘束・てんかん対応・発達特性理解の研修を定期的に行う。<br>・年に1~2回の保護者向けの研修会に共に参加する。年に1回以上職員だけの研修も行い、講師の先生に子どもを見てもらいながら実際のかかわりについて指導を受ける。 |